

2019 年度 いじめ防止対策改善プログラム 全体計画

野口北小学校

- 基本理念
 - ①学校の内外を問わず、いじめが行われなくなるようにする。
 - ②いじめの影響や問題について、児童生徒が理解を深められるようにする。
 - ③家庭、地域、関係機関との連携のもと、いじめの問題を克服することを目指す。
- 基本目標

児童一人一人が希望にあふれ、大きな夢や目標を持って人生を力強く歩むと共に、他の児童を思いやり、共感し合いながら、互いに支え合うために、自己肯定感を高める教育活動の支援を行う。
- 行動目標
 - ① 職員会議等において共通理解を図るとともに、「チーム学校」として組織的な推進体制を充実させる。また、研修を通して教職員等の資質向上に努める。
 - ② いじめ問題等の未然防止に向けた取組を推進する。
 - ③ いじめ問題等の早期発見・早期対応に向けた取組を推進する。

□基本構想

職員研修・職員会議等・家庭地域啓発等	<ul style="list-style-type: none"> ① 職員会議で、指導方針、全体計画、年間計画の共通理解を図る。 ② PDCA サイクルにより、7月・12月・3月に学期毎のいじめ対策の検証を行う。 ③ いじめ対応チーム会議を毎月1回開催する。 ④ 学校生活適応推進研修会を学期ごとに実施する。 ⑤ 子どものコミュニケーション能力を高めるための研修を実施する。 ⑥ スクールカウンセラー・関係機関との連携を強化し、組織的な対応を図る。 ⑦ 家庭や地域への積極的な情報発信を推進する。
未然防止に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 「いじめ防止啓発月間」（9月）に人権学習を実施する。 ② 各学期の最初の1週間に、人間関係を促進する取組を実施する。 ③ すべての児童が参加・活躍できる「わかる授業」に取り組む。 ④ 「居場所づくり」「絆づくり」を育む教育活動を推進する。 ⑤ 「自己有用感」を育む学級活動、学年・学校行事を実施する。 ⑥ 児童会による自主的な「いじめ追放」への取組を推進する。 ⑦ 人権教育の充実を図り、人権授業参観を年1回実施し、保護者と共に考える機会を設定する。 ⑧ 学校支援ボランティアを活用し、見守り活動を充実させる。
早期発見・早期対応に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 「学校生活に関するアンケート」（アセス）を年2回実施し、支援策まで確実に実施する。 ② 「心の相談アンケート」を年2回実施し、子どもの実態を把握する。 ③ 全児童を対象とした個別の教育相談を年2回以上実施する。 ④ いじめの正確な認知を推進し、直ちに組織的な対応を図る。 ⑤ 担任と子ども、保護者の連絡を密にした支援（連絡帳の活用）を充実させる。 ⑥ 「ケース会議」を積極的に実施し、情報共有による教職員の意識化を図る。 ⑦ 研修の充実による教職員の資質と指導力の向上を図る。 ⑧ 「ネットいじめ」等の対策として、関係機関と連携した情報モラル教室を実施する。